



2020年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2019年11月 8日

株式会社いなげや
代表取締役社長
成瀬直人



● 小売事業

スーパーマーケット事業



いなげや

137店舗
(△2)



三浦屋

10店舗
(△1)

ドラッグストア事業



ウェルパーク

135店舗
(+3)

小売事業
総店舗数

282店舗
(±0)

2019.9月末時点
(加)は前期末との増減

● 小売支援事業



株式会社 **サンフードジャパン**

(株)サンフードジャパン

食品卸し・商品製造開発



(株)サビア
コーポレーション

施設管理・警備

INAGEYA
WING

(株)いなげやウィング

特例子会社（障がい者雇用）

いなげや
ドリームファーム

(株)いなげや
ドリームファーム

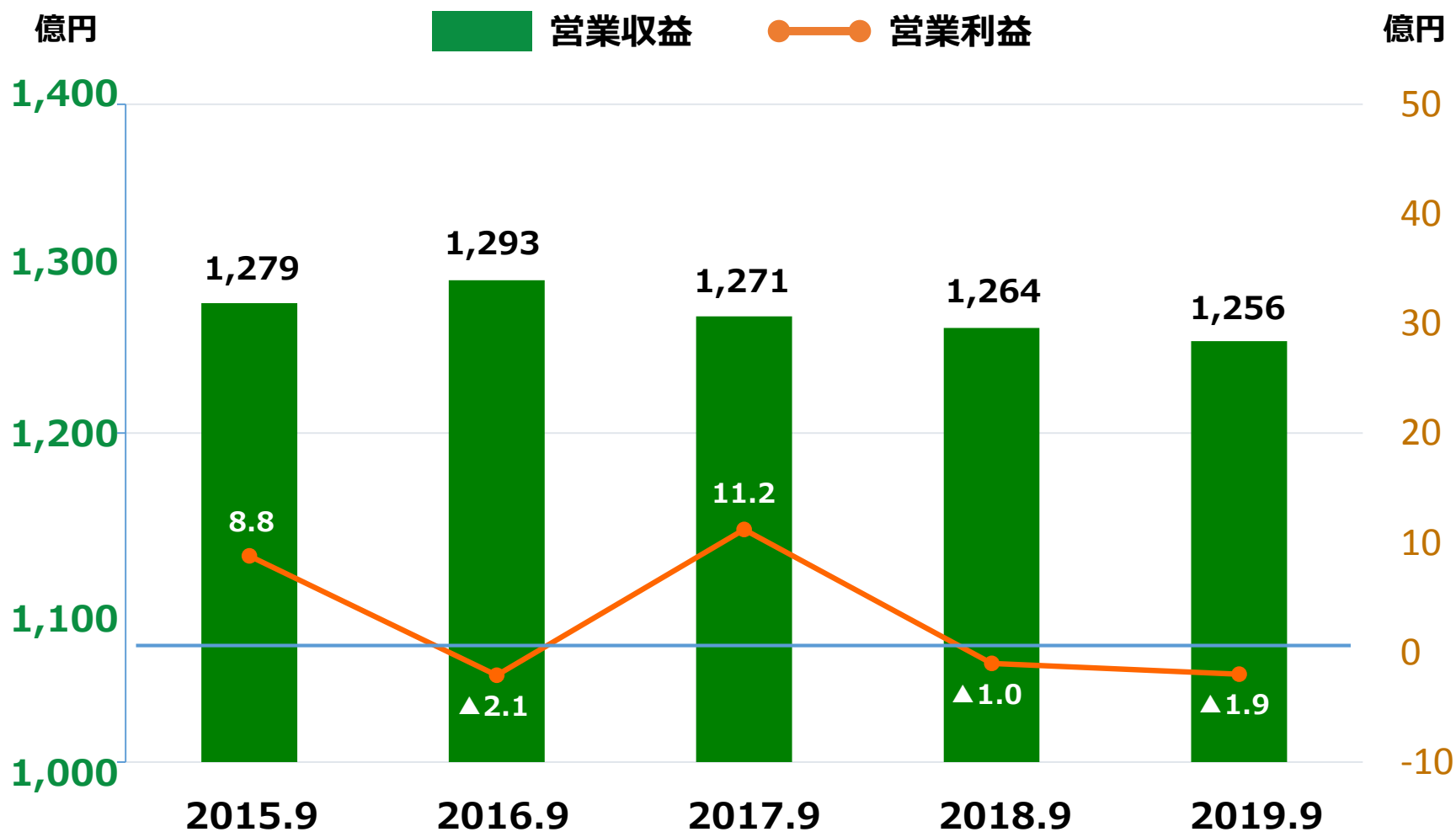
農業事業

1

2020年3月期 第2四半期

連結 決算状況

	2019年3月期 第2四半期			2020年3月期 第2四半期			増減額 (億円)
	金額 (億円)	売上高比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	売上高比 (%)	前年比 (%)	
営業収益	1,264	—	99.4	1,256	—	99.4	△7.4
売上高	1,220	100.0	99.5	1,212	100.0	99.4	△7.4
売上総利益	343	28.1	100.8	340	28.1	99.2	△2.9
販管費	388	31.8	103.6	386	31.9	99.5	△1.9
営業利益	△1.0	△0.1	—	△1.9	△0.2	—	△0.9
経常利益	0.4	0.0	3.7	△0.6	△0.1	—	△1.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△2.6	△0.2	—	△2.7	△0.2	—	△0.0



	2019/3月期 期末		2020/3月期 第2四半期末		増減額 (億円)
	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	
流動資産	330	34.6	301	30.7	△28.7
固定資産	623	65.4	680	69.3	56.4
流動負債	310	32.5	315	32.1	4.6
固定負債	123	12.9	153	15.6	30.0
純資産	520	54.6	513	52.3	△6.9
総資産	954	100.0	981	100.0	27.7

自己資本比率 51.3% (53.6%)
前期比 △2.3P

設備投資 (キャッシュフローベース)
連結合計 70.3億円

2

2020年3月期 第2四半期

セグメント別状況

	スーパーマーケット 事業	ドラッグストア 事業	連結
売上高 (億円)	991	217	1,212
増減前年比 (%)	△1.6%	3.9%	△0.6%
増減前年比 (既存店) (%)	△2.8%	3.5%	△1.7%
売上総利益率 (%)	28.5%	25.9%	28.1%
増減前年比P	0.0 P	0.0 P	0.0 P
営業利益 (億円)	△7.3	4.0	△1.9
増減前年比 (%)	-	7.1%	-
売上高営業利益率 (%)	△0.7%	1.8%	△0.2%

差異は小売支援事業

新店 2 店舗 (前年3)

川崎市川崎区

いなげや 川崎京町店

東京都 小金井市

いなげや 小金井東町店

改装 5 店舗 (前年13)

東村山市役所前店、府中浅間町店 他

閉店 5 店舗 (前年3)

- ・スクラップ&ビルド
- ・業態転換
⇒ ウェルパークへ
- ・事業撤退
⇒ クックサン惣菜路面店
- ・事業縮小
⇒ 三浦屋グルメ(小型店)



川崎京町店 (19.6.21 オープン)



小金井東町店 (19.9.11 オープン)

	2017.9	2018.9	2019.9
売上高 (全店)	97.5%	100.0%	98.5%
売上高 (既存店)	98.7%	99.2%	97.3%
荒利高	99.8%	100.1%	98.3%
販管費	96.5%	103.6%	99.2%
営業利益	— (差額10.8億円)	— (差額△11.7億円)	— (差額△2.3億円)

- 青果・精肉の部門強化策に対し計画を下回ったうえ、天候不順の影響もあり、売上高は減収。
- 売り切りの徹底などロス削減に努めたが、売上高減少の影響により、荒利高は減少。
- 配送費などのコスト増加する中、構造改革によって販管費を削減したが、売上高減少の影響が大きく、営業損失は拡大。

新店 3店舗 (前年3)

- 東京都 立川市 ウェルパーク 立川北口大通り店
- 東京都 立川市 ウェルパーク 武蔵砂川店
- 川崎市 多摩区 ウェルパーク 川崎中野島5丁目店

改装 9店舗 (前年7)
秋津駅前店、国分寺西町店 他

閉店 0店舗 (前年2)



武蔵砂川店 (19.9.18 オープン)



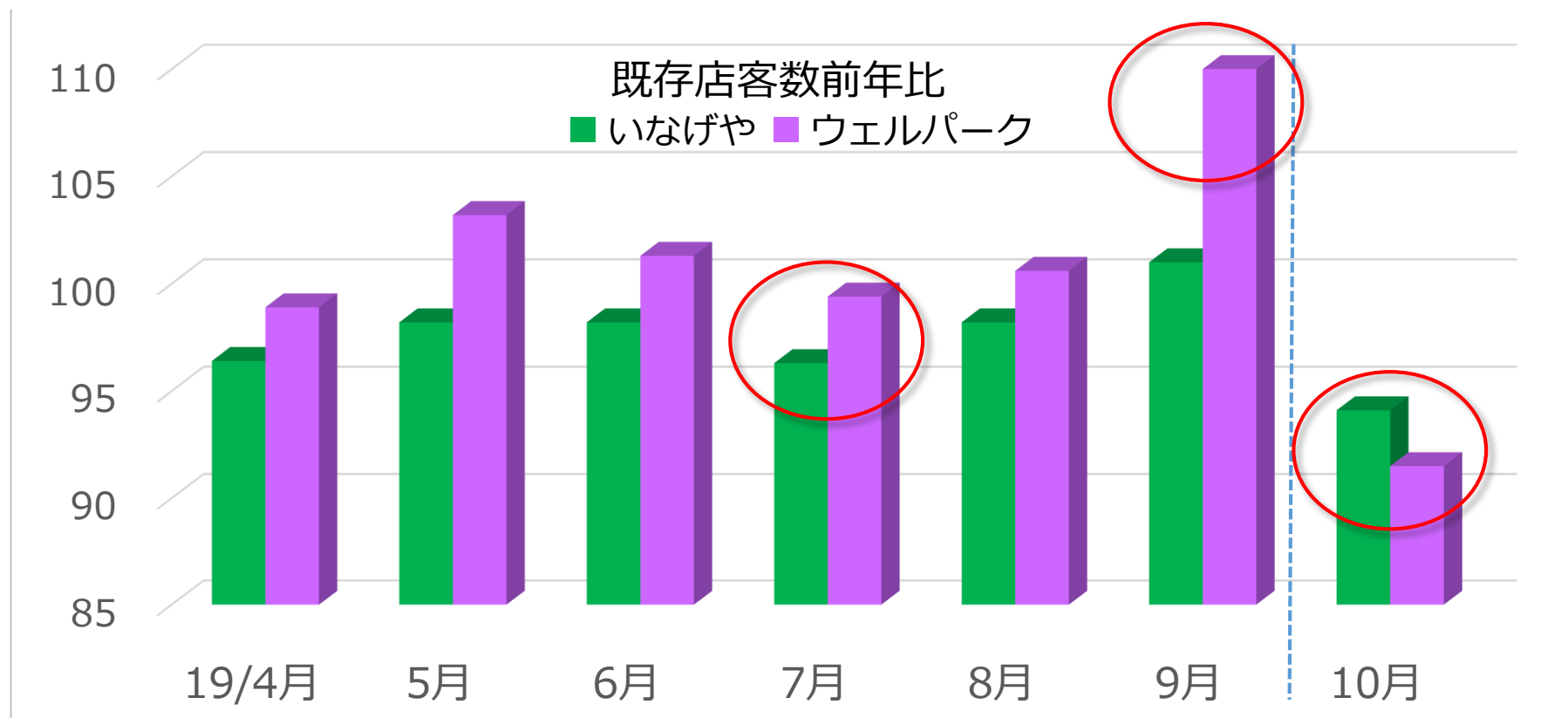
川崎中野島5丁目店 (19.9.25 オープン)



立川北口大通り店 (19.9.11 オープン)

	2017.9	2018.9	2019.9
売上高 (全店)	103.2%	100.5%	103.9%
売上高 (既存店)	100.5%	99.6%	103.5%
荒利高	103.3%	102.5%	103.8%
販管費	100.8%	104.4%	103.5%
営業利益	132.1%	75.3%	107.1%

- 売上面では、新店効果、ヘルス&ビューティーの専門性強化やコモディティ商品の展開強化等により、全店・既存店とも増収。
- 利益面では、ビューティーや調剤の強化により荒利高は増加。販管費のコントロールもあり、増益。



- 7月・・・梅雨明けの遅れで夏物商材の販売不振
- 9月・・・消費税増税前に伴う駆け込み需要の取り込み
- 10月～・・・消費税増税による反動減への対応、政策の浸透

3

2020年3月期 第2四半期

経営方針



お届けサービス

いなげや
オンラインショップ

移動スーパー
とくし丸

事業目的

地域のお役立ち業として
お客様の健康で
豊かな食生活の実現

経営目標

ヘルシーリビング
& ソーシャルマーケットの実現

食と人を通し、地域のお役立ち業として社会貢献し、
お客様と従業員が健康に歳を重ねて
人生の喜びや楽しさを感じて頂ける、
なくてはならない店の実現を図る

いなげやアプリ

環境
社会貢献活動



三浦屋
給食食材販売事業

いなげや
ドリームファーム



人手不足

食の多様化

競争環境
の激化

人件費
上昇

健康志向

E Cの普及

働き方改革

節約志向

キャッシュ
レス化

2018～19年度 中期2カ年経営計画

- 1 商品経営を実現し、快適で楽しい買い物空間、食の空間が提供できる惣菜を柱とした生鮮強化型SMの更なる進化を目指す
- 2 ロジスティクスを活用したトータルオペレーションの構築
- 3 接客サービスの独自化
- 4 おいしさと健康を地域のお客様に提供する「新フォーマット」の開発展開
- 5 コストの正確な把握とコスト構造改革の推進

最終年度 数値目標（2019年度）

グループ連結 売上高

2,435 億円

グループ連結 営業利益

15 億円

- 客数回復、売上・荒利額アップに向けて

販管費の削減～販売原資を確保

販売原資をお客様への還元

「ファミリー・ヤング」層の取り込み

「稼ぐ力」の回復へ

● 販管費の削減～販売原資の確保

経費抑制

部署別配置人員の適正化

残業時間の削減

電気料削減・節水システム

店舗のローコスト建設・運営

業務効率化

塩干・精肉発注台帳 E O B 化

流通 B M S 導入による伝票レス化

冷凍食品の自動発注推進

人財育成・確保

人員の再配置・活用

接客サービス独自化 P J

ローコスト オペレーション

「実験店舗」での改善点を全店に展開

店舗での「5 S」「定位置管理」

時間帯別作業

店舗運営基準書による作業標準化

効率化への取組を一つ一つ積み上げる！！

● お客様への還元

お客様の来店動機となる商品経営

- 「戦略部門（青果・精肉・惣菜）」
- 「鮮度・品質・価格」
- 「今月の強化分類」
- 「今週の一品」



節約志向・買物動向変化に対応

- 「日替わり特売」
- 「コモディティ商品のEDLP」
- 「Ready To～」
- 「健康」
- 「PB」



「新鮮さを、お安く、心をこめて」を実現！！

● 人件費構造改革 の進捗について

● グループ内の人財交流も含めた人員の再配置

⇒ 本社人員のスリム化

● オペレーションの再構築

⇒ 基本オペレーションの確立（水平展開へ）

⇒ ロジスティクス活用による作業軽減と効率化

● 店舗作業軽減への積極投資

⇒ 陳列作業軽減什器の導入（改装時順次拡大）

⇒ 自動発注支援システム、EOB端末（活用拡大）

人件費 ▲2.6% ▲4億円

生産性の向上 ⇒ 構造改革推進へ

4

2020年3月期 通期

業績予想

CF設備投資 リース資産含まず	新店	改装店	その他	合計
スーパーマーケット事業 (億円)	16	2	72	90
ドラッグストア事業 (億円)	9	1	5	15
小売事業計 (億円)	25	3.0	77	105

新店投資

いなげや

上期 2 店舗出店済

ウェルパーク

上期 3 店舗出店済
下期 7 店舗を計画

改装投資

いなげや

13 店舗

三浦屋

0 店舗

ウェルパーク

14 店舗

その他投資

- 情報システム
割賦販売法対応
基幹システム 他
- 既存店 底地取得 他

売上高		売上高（億円）	前期比増減（%）
	スーパーマーケット事業	1,989	▲1.1%
	ドラッグストア事業	447	6.8%
	小売事業計	2,435	0.2%

利益率		営業利益率
	スーパーマーケット事業	0.1%
	ドラッグストア事業	2.2%
	小売事業計	0.6%

連結	当初計画		修正予想	
	金額（億円）	前期比 増減（%）	金額（億円）	前期比 増減（%）
営業収益	2,550	1.3%	2,520	0.1%
営業利益	23	0.9%	15	△34.2%
経常利益	26	0.9%	17	△34.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5	-	1	- (差額14億円)

いなげや 川崎京町店

2019年6月21日(金)オープン 売場面積522坪

ダイソー、しまむら、ヘアースタイル、学習塾などの専門店が入り、
お客様の生活を支えるショッピングセンター

季節品の単品の売り込み・展開力を強化



鮮魚売場 冷蔵 ⇒ 冷凍へ (暮らしぶりの変化)



センター加工品を全店に投入、生産性向上へ



売り込みと作業性を重視した売場へ



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

4

スライド什器を随所に設置し作業性を向上



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

5

フェースを拡大、補充頻度削減し作業性を向上



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

6

冷凍生地比率を上げた、約50種類の100円パン



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

7

セミセルフレジ導入、レジ待ち時間の解消へ



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

8

地産地消…地元野菜、菓子、カレー、ビール等



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

9

お惣菜…出来立て、作り立てを追求



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

10

イートイン…お買物だけでない空間を提供



Copyright © 2019 by Inageya Co., Ltd.

11

いなげや小金井東町店

2019年9月11日(水)オープン 売場面積 298坪
スクラップ&ビルドを推進 ⇒ 知名度を活かし活性化



ウェルパーク、続々出店



令和元年台風第15号 千葉県内店舗被災



県内5店舗被災

- ・君津店
 - ・木更津請西店
 - ・千葉桜木店
 - ・大多喜店
 - ・佐倉店 など
- 最大3日の営業停止



令和元年台風第19号 事前対応.被災地支援



台風19号本州縦断
上陸当日(10/12)
全店臨時休業
翌日(10/13)
午後全店開業
グループ店舗全店



被災した東京都日の出町の孤立住宅への出張販売 (とくし丸)



すこやけく の像

すこやけくの実現

お客様の健康で豊かな暖かい日常生活と より健全な社会の実現に貢献する。

商人道の実践

お客様のお喜びを自分自身の喜びとして 感じることができる人間集団。

いなげやの 3つの造語(大切にしている言葉)

1、すこやけく

「健やか」と「希求(けく)」をあわせて
「すこやかなことをこいねがうこと」を意味します。

2、人財

いなげやグループの全従業員は
会社の財産であるということを意味します。

3、考働

自ら考え周りに働きかけながら
新たな価値を創造してゆくことを意味します。

この資料には、当社現在の計画や業績見通しなどが含まれております。これら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約・保証するものではありません。

お問い合わせ

(株)いなげや 社長室

担当 植原・奥田

Tel 042-537-5031

Fax 042-537-5070